

106. 読書習慣をつけさせるには

【問い】 小学2年と4年のわが子はテレビや遊びに夢中で、すすめてもさっぱり本を読もうとしません。今のうちに読書の習慣をつけさせたいのですが、いい方法はないでしょうか。

【答え】 夕食後のひととき、家族全員が居間に集まり、思い思いに読書をし、ときどき自分の読書についてみんなに語りかける…。こんな家庭をめざす方法として「親子読書」をおすすめします。

これは、親と子が同じ時間に同じ場所で、毎日（または決めた曜日に）読書を続けていく方法で、具体的方法は、子供の発達段階によって異なります。例えば文字を知って自力で読む力がついた低学年の段階では、親子で声を合わせて読むところからスタートし、だんだん1ページや1節ごとの交代読みへと移ります。その際、読み誤りを正したり、理解を確かめるために質問を入れたりして読み進めます。

この親子の交代読みで何冊も読みますと、自然に自力での黙読を求めるようになります。そして、読後に感動した点を確認め合ったり、登場人物について批判し合ったりして、読書力をつけるのです。

次に、「親子読書」をすすめていく上の留意点を述べてみましょう。

- ①10分～30分ぐらいの短い時間でスタートし、無理をしないで継続させる。
- ②「家族読書カレンダー」のようなものを工夫させて、どんな本を読んでいるかが分かるようにしておく。
- ③読む本は、名作などにとらわれず、親子で書店に行き、広い範囲に目を向けさせ、最終的には子供に選ばせたい。
- ④正月、お祭り、クリスマス等のプレゼントの機会を利用して、読んでほしい本を贈る。
- ⑤読書感想文を無理に書かせない方がよい。
- ⑥父親の参加は効果抜群です。